

年	組	名前
---	---	----

日田ワサビ増産を

市有林で林間栽培へ

生産者に貸し出し、支援

九州一のワサビ産地として知られる日田市は本年度から、市有林をワサビ栽培用の農地に活用する事業を始める。3力年で10畝を整備して生産者に貸し出し、増産を支援。将来は現在の2倍以上となる年間1000トンの生産を目指している。



栽培地として整備する市有林。間伐後、地ならしや土壌改良し、11月から苗を定植する予定＝日田市上津江町の杉林

日田市内は上、中、前津江地域を中心に、間伐した杉林の中などの林間と、畑（ハウス）でワサビを栽培。加工用として主力の茎のほか、花や根などを出荷している。

ピーク時に年間120トンを以上出した出荷量は、高齢化や過疎化に伴い減少。昨年度は作付面積約5畝で、出荷量は42トン（林間ワサビは約10トン）になっている。一方で、国内産地の供給減や呼び掛けた。

海外産地の不作などにより、大分産ワサビのニーズが上昇。JAおおいた日田わさび部会（信岡山治部会長、約80人）でも増産を計画している。

(2013年6月13日朝刊13面)

日田市は本年度から、市有林をワサビ栽培用の農地に活用する事業を始めます。

①事業により目指す、将来の生産量は年間何トンでしょう。それは現在の何倍でしょう。

.....

.....

.....

.....

②出荷量が減少している要因は何でしょう。大分産へのニーズが上昇している要因は何でしょう。

.....

.....

.....

.....

③ワサビのおいしい食べ方を知っていますか。調べてみよう。

.....

.....

.....

.....